

オープンソース ソフトウェアのセキュリティに関するメンテナーの視点

2023年末に、メンテナーと
コアコントリビューターの
72%が、
OSSはセキュアになる
と感じています。



使用されている
OSSパッケージの
セキュリティを評価する
第一位のアプローチは
SCAおよびSAST
セキュリティツールです。

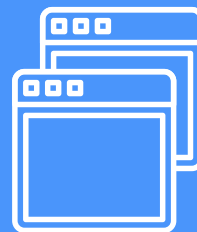


メンテナーと
コアコントリビューターの
39%はソースコードを
手動でレビュー
しています。



プロジェクトの
ドキュメンテーションは
広く普及していますが、
どこにでもあるわけでは
ありません。
87%のプロジェクトが、
基本的なドキュメントを提供
していると回答しました。

プロジェクトの56%は
**再現可能な
ビルドを
サポート**します。



**セキュリティツールの
より賢い利用**は、
OSSサプライチェーン全体の
セキュリティを向上させる
第一位のアプローチです。

自動化を通じて
開発者の負荷を
軽減することが
OSSサプライチェーン
全体のセキュリティを
向上させる
第二位のアプローチです。



OSSコントリビューターの
69%はセキュアな
ソフトウェア開発のため
**確立された
ベストプラクティス**を
求めています。



OSSプロジェクトを
維持する
第一位の理由は、
学ぶことの楽しさ
です。



OSSのコントリビューターの
49%はOSSへの貢献に対する
雇用主からの追加報酬を
望んでいます。



メンテナーの4分の1 (27%) は
OSSの**セキュリティ
ポリシーの定義**に関する
責任を負っています。



メンテナーの30%は
**OSSセキュリティ
ポリシーの実施**に
関する責任を負っています。

